

## クラリティ・プロジェクトについて

### 1. クラリティ・プロジェクトの背景

現行の国際監査基準（ISA）で用いられている文章は、“should”を使用して要求事項を記載している文章（太字で表示していることからブラック・レターと呼ばれている）と、現在形の動詞などを使用して記載されている文章（グレー・レター）から構成されている。

こうした ISA の構成に対して、グレー・レターによって記載されている文章の中にある現在形の動詞で記述されている手続が、要求事項なのかどうか明瞭でなく、ブラック・レターに記述されている要求事項自体も手続として足りないのではないかとの批判があった。また、ISA315“Identifying and Assessing the Risks of Material Misstatement through Understanding the Entity and Its Environment”のように 100 パラグラフを超えるような長文の ISA が公表されるようになると、手続と説明が混在しており非常に冗長であることの指摘を受けるようになった。

そのため、ISA を検討作成している国際監査・保証基準審議会（IAASB）では、こうした批判に対応する起草方針案を検討し、2004 年 9 月に諮問資料「クラリティ（Policy Statement, Clarifying Professional Requirements in International Standards and Consultation Paper, Improving the Clarity and Structure of IAASB Standards and Related Considerations for Practice Statements）」として公表した。そして、寄せられたコメントなどを踏まえ新しい起草方針を策定した。これがクラリティと呼ばれているものである。

### 2. クラリティ版 ISA の特徴

クラリティ版 ISA の特徴は、① 目的（Objective）を記載して、個々の ISA の目的を明確にしたこと、② 要求事項とそうでないものを明確に区分し、「要求事項（Requirements）」と「適用指針及びその他の説明資料（Application and Other Explanatory Material）」に分けて記載したことである。

### 3. 適用時期

クラリティ版 ISA は、計 38 本（国際品質管理基準（ISQC）第 1 号及び国際保証業務基準（ISAE）第 3402 号を含む）のうち、ISAE 第 3402 号を除く 37 本について、2008 年 12 月までに最終基準が承認されるに至っている。クラリティ版 ISA の適用方法については、個々の ISA を公表する都度適用させる方式と、すべての ISA を一斉に適用させる方式の二種類が検討されたが、一斉に適用させる方式、いわゆるビックバン方式をとることになった。また、適用時期については、およそ 1 年間の準備期間をおいて、2009 年 12 月 15 日以降開始事業年度に係る監査からとなっている。

以 上

クラリティ版ISAのリスト等

1. クラリティ版ISAのリスト

(平成21年6月30日現在)

No.	クラリティ版ISAのタイトル	進捗状況
1	ISQC 1 (Redrafted), Quality Control for Firms that Perform Audits and Reviews of Financial Statements, and Other Assurance and Related Services Engagements (財務諸表の監査とレビュー、その他の保証業務及び関連サービス業務を実施する事務所の品質管理)	Final版 公表済み
2	ISA 200 (Revised and Redrafted), Overall Objective of the Independent Auditor and the Conduct of an Audit in Accordance with International Standards on Auditing (独立監査人の全般的目的及び国際監査基準に準拠する監査の実施)	Final版 公表済み
3	ISA 210 (Redrafted), Agreeing the Terms of Audit Engagements (監査契約の約定項目の合意)	Final版 公表済み
4	ISA 220 (Redrafted), Quality Control for an Audit of Financial Statements (財務諸表監査における品質管理)	Final版 公表済み
5	ISA 230 (Redrafted), Audit Documentation (監査調書)	Final版 公表済み
6	ISA 240 (Redrafted), The Auditor's Responsibilities Relating to Fraud in an Audit of Financial Statements (財務諸表監査における不正に関する監査人の責任)	Final版 公表済み
7	ISA 250 (Redrafted), Consideration of Laws and Regulations in an Audit of Financial Statements (財務諸表監査における法令の検討)	Final版 公表済み
8	ISA 260 (Revised and Redrafted), Communications with Those Charged with Governance (統治責任者とのコミュニケーション)	Final版 公表済み
9	ISA 265 (new), Communicating Deficiencies in Internal Control to Those Charged with Governance and Management (統治責任者及び経営者への内部統制の不備に関する報告)	Final版 公表済み
10	ISA 300 (Redrafted), Planning an Audit of Financial Statements (財務諸表監査の計画)	Final版 公表済み
11	ISA 315 (Redrafted), Identifying and Assessing the Risks of Material Misstatement through Understanding the Entity and Its Environment (企業及び企業環境の理解を通じた重要な虚偽表示リスクの識別及び評価)	Final版 公表済み

No.	クラリティ版ISAのタイトル	進捗状況
12	ISA 320 (Revised and Redrafted), Materiality in Planning and Performing an Audit (監査の計画及び実施における重要性)	Final版 公表済み
13	ISA 330 (Redrafted), The Auditor's Responses to Assessed Risks (評価したリスクに対する監査人の手続)	Final版 公表済み
14	ISA 402 (Revised and Redrafted), Audit Considerations Relating to an Entity Using a Service Organization (外部の受託会社を利用する企業における監査上の考慮事項)	Final版 公表済み
15	ISA 450 (Revised and Redrafted), Evaluation of Misstatements Identified during the Audit (監査中に識別した虚偽表示の評価)	Final版 公表済み
16	ISA 500 (Redrafted), Audit Evidence (監査証拠)	Final版 公表済み
17	ISA 501 (Redrafted) Audit Evidence - Specific Considerations for Selected Items (監査証拠－特定項目に対する特別な考慮事項)	Final版 公表済み
18	ISA 505 (Revised and Redrafted), External Confirmations (外部確認)	Final版 公表済み
19	ISA 510 (Redrafted), Initial Audit Engagements - Opening Balances (初年度監査－期首残高)	Final版 公表済み
20	ISA 520 (Redrafted), Analytical Procedures (分析的手続)	Final版 公表済み
21	ISA 530 (Redrafted), Audit Sampling (サンプリング)	Final版 公表済み
22	ISA 540 (Revised and Redrafted), Auditing Accounting Estimates, Including Fair Value Accounting Estimates, and Related Disclosures (公正価値の見積りを含む会計上の見積りの監査、及び関連する開示)	Final版 公表済み
23	ISA 550 (Revised and Redrafted), Related Parties (関連当事者)	Final版 公表済み
24	ISA 560 (Redrafted), Subsequent Events (後発事象)	Final版 公表済み
25	ISA 570 (Redrafted), Going Concern (継続企業)	Final版 公表済み
26	ISA 580 (Revised and Redrafted), Written Representations (書面による確認)	Final版 公表済み

No.	クラリティ版ISAのタイトル	進捗状況
27	ISA 600 (Revised and Redrafted), Special Considerations - Audits of Group Financial Statements(Including the Work of Component Auditors) (特別な考慮事項－グループ財務諸表の監査(構成単位の監査人の業務を含む))	Final版 公表済み
28	ISA 610 (Redrafted), Using the Work of Internal Auditors (内部監査人の業務の利用)	Final版 公表済み
29	ISA 620 (Revised and Redrafted), Using the Work of an Auditor's Expert (専門家の業務の利用)	Final版 公表済み
30	ISA 700 (Redrafted), Forming an Opinion and Reporting on Financial Statements (財務諸表に対する意見形成と報告)	Final版 公表済み
31	ISA 705 (Revised and Redrafted), Modifications to the Opinion in the Independent Auditor's Report (独立監査人の報告書における監査意見の修正)	Final版 公表済み
32	ISA 706 (Revised and Redrafted), Emphasis of Matter Paragraphs and Other Matter Paragraphs in the Independent Auditor's Report (独立監査人の報告書における強調区分及びその他の区分)	Final版 公表済み
33	ISA 710 (Redrafted), Comparative Information - Corresponding Figures and Comparative Financial Statements (比較情報－対応する数値と比較財務諸表)	Final版 公表済み
34	ISA 720 (Redrafted), The Auditor's Responsibility in Relation to Other Information in Documents Containing Audited Financial Statements (監査済み財務諸表を含む文書におけるその他の情報に対する監査人の責任)	Final版 公表済み
35	ISA 800 (Revised and Redrafted), Special Considerations - Audits of Financial Statements Prepared in accordance with Special Purpose Frameworks (特別な考慮事項－特別目的の枠組みに従って作成された財務諸表に対する監査)	Final版 公表済み
36	ISA 805 (Revised and Redrafted), Special Considerations - Audits of Single Financial Statements and Specific Elements, Accounts or Items of a Financial Statement (特別な考慮事項－単独財務諸表、財務諸表の特定の要素、科目又は項目に対する監査)	Final版 公表済み
37	ISA 810 (Revised and Redrafted), Engagements to Report on Summary Financial Statements (要約財務諸表に関する報告業務)	Final版 公表済み
38	ISAE 3402 (new), Assurance Reports on Controls at a Third-Party Service Organization (外部の受託会社の統制に関する保証報告)	2009年9月 承認予定

2. クラリティ版ISAのうちJICPAが対応する実務指針を公表しているもの

(平成21年6月30日現在)

ISA	監査基準委員会報告書
ISA 240 (Redrafted), The Auditor's Responsibilities Relating to Fraud in an Audit of Financial Statements (財務諸表監査における不正に関する監査人の責任)	第40号「財務諸表監査における不正」(中間報告)
ISA 300 (Redrafted), Planning an Audit of Financial Statements (財務諸表監査の計画)	第37号「監査計画」(中間報告)
ISA 315 (Redrafted), Identifying and Assessing the Risks of Material Misstatement through Understanding the Entity and Its Environment (企業及び企業環境の理解を通じた重要な虚偽表示リスクの識別及び評価)	第38号「企業及び企業環境の理解を通じた重要な虚偽表示のリスクの識別と評価」(中間報告)
ISA 330 (Redrafted), The Auditor's Responses to Assessed Risks (評価したリスクに対する監査人の手続)	第39号「評価したリスクに対応する監査人の手続」(中間報告)

以上

平成21年6月12日  
金融庁

## IOSCO(証券監督者国際機構)による「国際監査基準に関する声明」の公表について

IOSCOは、6月11日、「国際監査基準に関する声明」を公表しました。

本プレスリリースでは、本年3月に、国際監査・保証基準審議会(IAASB)(注1)が、明瞭性プロジェクト(注2)の完了を公表したことを受け、証券規制当局に対し、



- クロスボーダーでの公募及び上場における国際監査基準(ISA)に基づく監査の受入
- 国内向けの監査基準設定にあたってISAを考慮に入れること

を促しています。

(注1)国際監査・保証基準審議会(IAASB):国際会計士連盟(IFAC)の中に置かれた、国際的な監査・保証の基準を審議・決定する機関。

(注2)明瞭性プロジェクト:ISAにおいて、shouldを使用して記載されている手続きと、現在形の動詞等を使用して記載されている手続きがあり、必須の手続きが不明確であったため、これを明確化。

内容については、下記をご覧ください。

-  [声明\(日本語仮訳\)\(PDF:85K\)](#)
-  [声明\(原文\)\(PDF:125K\)](#)

### 【連絡・問合せ先】

金融庁(TEL:03-3506-6000)  
総務企画局企業開示課(内線3663)

2009年6月11日

## IOSCO(証券監督者国際機構)による国際監査基準に関する声明

IOSCOは、投資家を保護し、国際的な資本市場の公正性及び秩序ある運営の促進のために協働する証券規制当局による国際機関である。このような共同作業は、投資家の意思決定にあたっての信頼性の基となるものである。

投資家にとって重要な情報は、証券の発行体の財務諸表である。そして、独立監査人による財務諸表監査は、財務諸表に対する投資家の信頼性を向上させるためのものである。このため、監査を実施する際の基準は、監査の品質を保つ上で不可欠であるだけでなく、公益に資する上でも重要である。

国際的な監査基準は、国際的にも国内の監査基準の標準としても、投資家、監査人、監査監督機関及び証券規制当局が国際的な資本市場でそれぞれの役割を果たすための、共通の監査言語を提供するものである。

IOSCOは、長期間にわたり、国際監査基準（ISA）を策定する民間の基準設定主体である国際監査・保証基準審議会（IAASB）による作業を通じた、一組の国際的な監査基準にかかる取組みを支援してきた。なお、IAASBは国際会計士連盟（IFAC）を設立母体とし、公益監視委員会（PIOB）の監視下にある組織である。

過去数年間、IAASBはISAの本文の構成を見直し、改善するプロジェクト（いわゆる明瞭性プロジェクト）に取り組んできた。ISAに関する2007年11月9日の声明に記載のとおり、IOSCOはこれらの取組みを支持してきた。IAASBは、今般、この取組みの完了と明瞭化されたISAの公表を宣言した。IOSCOはこの画期的成果を歓迎する。IOSCOはISAの規定を明瞭化することによる効果に着目し、従来のISAを新しい基準に置き換えることを支持する。IOSCOは、今後のISAの継続的な改善だけでなく、グローバルな監査慣行の実現に向けた翻訳、教育、その他の分野における多くの人々による継続的な進展を期待する。

IOSCO は国際的な財務報告に貢献し、投資家の信頼と意思決定の裏づけとして、一組の国際的な監査基準によって果たされる役割の重要性を確信している。国際的な資本市場における現状は、その支援の重要性を強調するものである。IOSCO は、現在、多くの証券規制当局がその資本市場において、ISA によって行われた監査を受け入れていることを留意する。これにより、ISA が、資本市場におけるクロスボーダーでの証券公募及び上場の促進において、重要な役割を果たすことができる。

IOSCO は、クロスボーダーでの公募及び上場のために、証券規制当局が、明瞭化された ISA により実施・報告される監査を受け入れることを促す。ただし、その受け入れの可否は、各国における多くの要因や状況に依存することは認識している。更に、IOSCO は、各国又は各地域レベルの要因が考慮されることを認識しつつ、国内向け公募及び上場においても、明瞭化された ISA が果たす潜在的役割に着目し、証券規制当局と関連当局が、国内向けの監査基準の設定にあたり、明瞭化された ISA を考慮に入れることを促す。



# MEDIA STATEMENT



International Organization of Securities Commissions  
Organisation internationale des commissions de valeurs  
Organização Internacional das Comissões de Valores  
Organización Internacional de Comisiones de Valores

IOSCO/MS/06/2009

Tel Aviv, 11 June 2009

## **IOSCO Statement on International Auditing Standards**

IOSCO is the global body of securities regulators who work together to protect investors and enhance the integrity and orderly operation of the global capital markets. Such collaborative activities support investor confidence which aids investor decision making.

A key element of information evaluated by investors is an issuer's financial statements. An independent audit of those financial statements is designed to enhance investor confidence in the reliability of the financial information provided. The standards by which those audits are conducted are in turn a key contributor to audit quality and as such are important to serving the public interest.

International auditing standards—either of themselves or as a touchstone for the determination of national auditing standards—provide a basis for a common auditing language that investors, auditors, audit oversight bodies and securities regulators can use as they carry out their respective roles in the global capital markets.

IOSCO has long encouraged efforts around a set of internationally developed auditing standards through the work of the International Auditing and Assurance Standards Board (IAASB), the private-sector standard setting body that develops International Standards on Auditing (ISAs). The IAASB is organized under the auspices of the International Federation of Accountants and it is subject to the oversight of the international Public Interest Oversight Board.

For the last several years the IAASB has carried out a project to restructure and improve the body of ISAs (known as the “Clarity Project”). IOSCO has encouraged these efforts, as noted in its 9 November 2007 Statement on International Auditing Standards. The IAASB has now announced the completion of this work and the release of the clarified ISAs. IOSCO welcomes achievement of this milestone.

Calle Oquendo 12  
28006 Madrid  
ESPAÑA  
Tel.: (34.91) 417.55.49 • Fax: (34.91) 555.93.68  
mail@oicv.iosco.org • www.iosco.org

## **MEDIA STATEMENT**



International Organization of Securities Commissions  
Organisation internationale des commissions de valeurs  
Organização Internacional das Comissões de Valores  
Organización Internacional de Comisiones de Valores

IOSCO endorses the replacement of the previous ISAs with the new standards, noting the improvements that have resulted from clarifying the ISA requirements. IOSCO looks forward to continued progress in terms of the translation, education and other efforts by many to facilitate global audit practices as well as the continuous improvement of ISAs over time.

IOSCO believes that there is an important role to be played by a set of international auditing standards in contributing to global financial reporting and supporting investor confidence and decision making. Current events in the global capital markets underscore the importance of this support. With respect to ISAs, IOSCO notes that today many securities regulators accept audits performed in accordance with ISAs in their capital markets. As a result ISAs are able to play an important role in facilitating cross-border securities offerings and listings in those markets.

IOSCO encourages securities regulators to accept audits performed and reported in accordance with the clarified ISAs for cross-border offerings and listings, recognizing that the decision whether to do so will depend on a number of factors and circumstances in their jurisdiction. Further, IOSCO notes the potential role of the clarified ISAs for purely domestic offerings and listings and thus encourages securities regulators and relevant authorities to consider the clarified ISAs when setting auditing standards for national purposes, recognizing that factors at the national and regional level will be relevant to their considerations.

### **MEDIA ENQUIRIES**

David Cliffe  
Mobile  
Email:  
Website:

+ 34 91 787 0419  
+ 34 679 969 004  
[d.cliffe@iosco.org](mailto:d.cliffe@iosco.org)  
[www.iosco.org](http://www.iosco.org)

Calle Oquendo 12  
28006 Madrid  
ESPAÑA  
Tel.: (34.91) 417.55.49 • Fax: (34.91) 555.93.68  
[mail@oicv.iosco.org](mailto:mail@oicv.iosco.org) • [www.iosco.org](http://www.iosco.org)